

# 県議マネージャーの 情報コーナー

No. 24

県庁不正経理 本会議緊急質疑（12月22日）

千葉県議会の閉会日の午前10時から 12月18日の不正経理調査報告に対しての 緊急質疑が行われました。各会派10分ずつ 計6人が質問しました。

## 質問に上がった一部議員の言葉

- ・十分に調査された。
- ・一刻も早く区切りをつけて（略）
- ・その後の対処は見事。

うーん、  
納得。



（裏金の）第二の使い道は**議会工作費**です。多選を有利に運ぶため**議員のまる抱え**が知事周辺によって進められ、オール与党化が進んでいることもあり、有力議員を接待したり、贈り物に使われます。  
（中略）  
これだけ接待攻撃を受けている議員に**公費の乱用を問題にすることができない**のは火をみるより明らかです。

（1997年の内部告発文より）

川本さんはじめ、複数の議員が今回の調査対象以前の平成14年以前について質問が上がりました。  
（以下、川本さんの質疑に対する小宮総務部長の答弁）

平成14年以前から行われていたと認識しているのか？

不正経理があったと推測できる。

不適正な経理処理の要因として、90年代の官官接待、カラ出張などの不正に千葉県では蓋がされ不正体質が温存されてきたと考えるがどうか？

1997年の内部告発文書に真摯に対応していればこのような事態は回避できたと思う。

12月4日の毎日新聞が県教委の1995年度支出伝票4件について「不正を認めた」と報じているが、これは明らかな不正の証拠ではないか？

当時の担当者も14年以前のことであり、確認できない。今後、退職者、在職者にも調査を続ける。

平成14年以前のことについては、

- ・伝票などの保存期間は3年～5年なので、データが無く、全体像が把握できない。
- ・業者帳簿が無いので、業者からの協力が得られない。
- ・客観的なデータが無い。
- ・事実が判明できる証拠が出てきた場合は、調査する。



「真摯に対応していれば」、この言葉が真実なら、今からでも遅くないと思います。真摯に対応してほしいです。そこから、真実はきっと導き出されると思います。